

運輸安全委員会の最終報告に対し組合声明を公表

内航貨物船「白虎」と外国籍船「ウルサンパイオニア」との海難事故 ②

事故発生から4年半を要した最終報告 運輸安全委員会 海難事故を軽視

2025年10月30日に運輸安全委員会より、2021年5月27日來島海峡航路西口付近で内航貨物船「白虎」と外国籍船「ウルサンパイオニア」が衝突した海難事故に関する事故調査報告が公表された。

本件海難事故では、公正を欠いた司法判断により「白虎」の日本人航海士のみが拘禁刑が科せられ、「ウルサンパイオニア」の船長は不起訴となったことを踏まえ、本組合は2024年9月17日に「公正を欠く司法判断に対する声明」を公表し、同年10月28日に運輸安全委員会に対して「迅速な事故原因の究明と事実情報の開示」について申し入れを行い強く要請していた。

これを受け、2026年1月23日に海員組合本部において、平岡英彦国内局長、立川博行政策局長、田川総合法律事務所の田川俊一弁護士、黒田直行弁護士が出席のもと記者会見を開催し、はじめに平岡英彦国内局長より、事故から4年以上も経過後に報告が公表されたことに対して厳しく指摘した。

「海員だより」